

# 分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会

No.129 2015. 7. 7

発行責任者 松本 幸一

編集責任者 教 宣 部

6月27日、13:00より支社会議室において、「平成27年度システム化・省力化等による要員削減」の申し入れについて地本・支社間で業務委員会が開催されました。

## 大混乱!!なぜ、現場と支社では見解が違うの??

(SEKの業務移管について)

組合: 仕業検査の上廻り作業でSEK(新幹線エンジニアリング株式会社)の作業が発生した場合はA担当に連絡をしてA担当が作業指示をすると現場で説明されてるが間違いないか。

会社: 従来通り、作業が発生した場合は、作業責任者のA担当へ連絡する。工程管理の観点である。それで作業者が作業を行う。

組合: SEK社員からA担当へ連絡して、A担当がSEKへ指示を出すと現場で言ってる。

会社: 会社の公式な回答は、SEKさんは作業が発生すると作業責任者であるA担当へ連絡をする。連絡を確認してそれぞれが作業を行う。

組合: 連絡するだけでいいのか。作業者が勝手に判断してやっていいのか。

会社: そうです。

組合: 複数の作業が発生した場合は。

会社: 作業は契約で定められた作業をするだけ。契約に従ってやるという意味ではそうである。

組合: SEKさんが作業を見つけてA担当に連絡する。連絡しただけで直ぐに作業するのか、A担当者が指示をしてから作業に移るのか、どちら。

会社: 契約に基づいてやって下さいということ。やるということはこちら(A担当)は把握しましたということ。

**会社は「A担当は連絡をもらうだけで作業指示はしない」と回答しています。現場が違う説明をしているということです。また、「SEKは契約に基づいてやる」と回答していますが、その契約の内容がまったく明らかになっていません。**

## 今までの作業ダイヤは勝手に書いたものだった!!誰が作ったのか??

(作業ダイヤについて)

会社: 作業の状況とかその作業が何分とかまで決めたものがない。全体として標準として50分で収まることをお知らせしてる。

組合: (現在の作業で) 今年の7月に時分が書いた資料をもらった。

会社: 会社として決めた公式な資料ではない。新幹線の車両部として標準50分として定めたものの中に具体的に定めたものがない。その時に誰が作ったものか分からない。

組合: これである(資料提示)。平成25年7月1日、大阪仕業検査車両所検修科と書いてる。

会社: 公式なものではない。

**会社はまったく計画性がなく、始まってから私達の指摘通り様々な問題が発生しています。みなさん! 誤魔化されずに現場管理者に問題を聞いていきましょう!!**